

愛知の医療ツーリズム 推進シンポジウム



既存の医療の受入余力を活用し、地域医療に影響を及ぼさない範囲において、外国人患者への先進的な医療や最先端の医療機器等による検診の実施など、優れた医療技術の提供による医療の国際化の推進を図るため、「愛知の医療ツーリズム推進シンポジウム」を開催します。

日時

2017年
10月29日(日) 午後1時～4時

(開場：午後0時30分)

会場

ウィルあいち3階【大会議室】

(名古屋市東区上笠杉町1)

対象

医療機関の関係者など 200名

13:00～ あいさつ

13:10～ 講演「医療ツーリズムの拠点へ：愛知が持つ力」
～政策、組織、そして医療機関に必要なもの

東京大学医学部附属病院 国際診療部 副部長 山田秀臣 氏

14:05～ 事例報告

多摩大学大学院 教授 真野俊樹 氏

藤田保健衛生大学 学長 星長清隆 氏

医療法人借行会 病院医療事業部 国際医療部 部長 高橋忍 氏

15:05～ 休憩

15:15～ パネルディスカッション「愛知の医療ツーリズムの推進に向けて」

コーディネーター：真野教授、(公社)愛知県医師会 会長 柵木充明 氏

パネリスト：山田副部長、星長学長、

医療法人借行会 理事長 川原弘久 氏

～16:00 閉会

参加無料!

申込方法、登壇者などについては裏面をご覧ください。

◀ 主な登壇者 ▶

やま だ ひて おみ
山田 秀臣 (講演、パネリスト)

ま の とし き
真野 俊樹 (報告、コーディネーター)

◀東京大学医学部附属病院 国際診療部 副部長▶

愛知県犬山市出身。名古屋大学医学部卒業後、同大学院時代に東京大学へ国内留学。平成9年に大学院を特例短縮(3年)で卒業し、ドイツへ留学。

帰国後は東京大学でキャリアを重ね、平成24年に国際診療部を設立、現在に至る。専門は腎臓内科。

学内受賞歴：The Best Teachers' Award(医学部)、ベストスタッフ賞(東大病院)、東大総長賞(プロジェクトチームとして)

◀多摩大学大学院 教授▶

名古屋大学医学部卒業。臨床医を経て、米国コーネル大学医学部研究員。その後、外資系製薬企業、国内製薬企業のマネジメントに携わる一方、英国レスター大学大学院でMBA取得。京都大学にて博士(経済学)取得。

国立医療・病院管理研究所協力研究員、昭和大学医学部公衆衛生学(病院管理学担当)専任講師、多摩大学医療リスクマネジメント研究所教授等を経て現職。

ほし なが きよ たか
星長 清隆 (報告、パネリスト)

かわ はら ひろ ひさ
川原 弘久 (報告、パネリスト)

◀藤田保健衛生大学 学長▶

慶應義塾大学医学部卒業。国家公務員共済組合連合会立川病院泌尿器科、国立大蔵病院外科、米国ヴァージニア医科大学移植血管外科フェロー等を経て、藤田保健衛生大学医学部泌尿器科講師。

その後、同科助教授、教授、副院長、病院長を経て現職。

◀医療法人偕行会 理事長▶

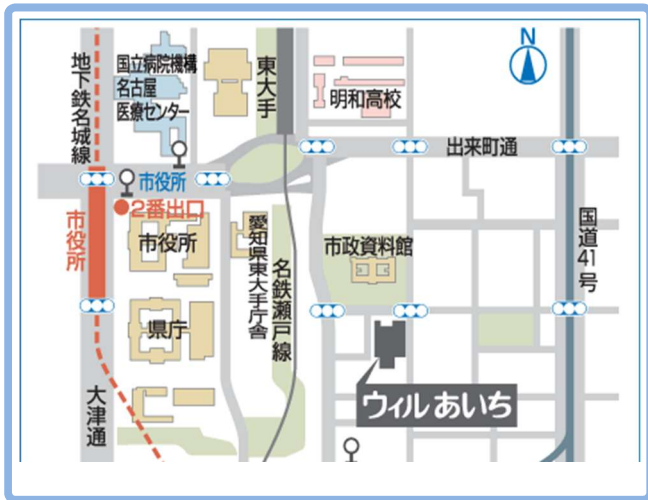
名古屋大学医学部卒業。昭和伊南病院総合病院内科、医療法人衆済会増子記念病院内科部長・透析室長、名古屋共立病院院長。

その後、医療法人偕行会にて名古屋共立病院理事長兼院長、理事長、グループ会長を歴任。

ませ き みつ あき
柵木 充明 (コーディネーター)

◀愛知県医師会 会長▶

名古屋大学医学部卒業。名古屋掖済会病院産婦人科、静岡済生会病院産婦人科、名大病院産婦人科、名大病院分娩部副部長、上野産婦人科病院院長を経て医療法人博報会理事長。



【会場アクセス】

- 地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」 北へ徒歩約5分

※駐車場は手配していません。公共交通機関をご利用ください。

参加申込書 (先着順)

Eメール (件名:「シンポジウム申込み」)、FAX、郵送などでお申し込みください。

お名前			
機関名			
電話	() -	Eメール 又は FAX	

※ 申込み受付の連絡はいたしません。定員超過で参加いただけない場合のみ、ご連絡します。

※ お送りいただいた個人情報は、当イベント以外では使用しません。

愛知県 健康福祉部 保健医療局 医務課

(〒460-8501 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号)

TEL : 052-954-6274

FAX : 052-954-6918

Eメール : imu@pref.aichi.lg.jp